観光入国再開、成田空港の免税店が在庫増 波及効果期待

#新型コロナ #インバウンド #千葉

2022/6/11 2:00 [有料会員限定]

成田空港の国際線入国エリア。外国人を含め人影はまだ少ない（10日）

新型コロナウイルスの水際対策のため約2年間にわたって停止していた外国人観光客の受け入れが10日、再開された。ただ、観光目的の入国が本格化するのはこれからで添乗員付きツアー限定といった制約もある。空の玄関口である成田空港では外国人の姿はまだ少ないが、首都圏の首長は波及効果に期待する。

成田空港の旅客数はコロナ前の1割程度で、空港内の物販・飲食店は今も閉店が目立つ。免税店などを運営するNAAリテイリング（千葉県成田市）も全80店舗のなかで営業中は半分以下。ただ、外国人観光客の復活を見込んで在庫や品数を積み増すなど体制を強化し始めた。

営業第一部の伊藤勇人総支配人は「少しずつになると思うが、従来のような活気のある空港に戻るはずだ。訪日客の状況を見ながらフル稼働に近づけていきたい」と意気込む。観光目的の訪日客はビザ（査証）の取得が必要で、感染リスクの低い98カ国・地域からに限られる。入国の手続きや検疫措置は一時より緩和されてきたもののコロナ前と比べれば来日までの壁は高い。10日にポーランドから来日した夫婦は「自宅のある地方から首都までビザを取りに行くなど書類申請が大変だった」と打ち明ける。

ただ、1日2万人という入国者数の上限が今後広がる見通しのほか、訪日観光の条件も徐々に見直されるとみられる。インバウンド復活の第一歩として首都圏の首長は10日の記者会見で期待感を表明した。

横浜市の山中竹春市長は「コロナ禍からの市内経済の回復につなげたい」とし、「旅行会社に働きかけて団体旅行の誘致に力を入れる。クルーズ船の再開も必要で積極的に誘致したい」と波及効果の取り込みに意欲を示した。

東京都の小池百合子知事も足元の急速な円安も「訪日客には最大のインセンティブだ」と強調。「東京として多くのお客さまを安全に迎えられれば」と述べた。

一方で感染拡大への不安も伴う。埼玉県の大野元裕知事は「基本的には歓迎。県内でも外国人向けの観光企画が始まっている」としつつ、「不安も確か。現時点で添乗員が（感染対策を）担保できるツアーに限定されているのはそういうことだと思う」と指摘。訪日客に感染対策を順守してもらう体制を整える考えを示した。